

すこやかネットだより

令和2年(2020年)3月

[第35号]

第九中学校区地域教育協議会

事務局 豊中市立第九中学校

TEL:06-6831-0751

*すこやかネットは中学校区を単位とした「学校」「家庭」「地域」のネットワーク。

第18回グリーンアップ 大作戦 2019.11.9



繋がった！
九中校区



校区はひとつ

街をきれいに！！

クリーンアップ大作戦

参加者：今年も1000名以上！！

「クリーンアップ大作戦」も今回で18回を迎えました。広報車も新しくなり、「休日の静かな朝に失礼します。本日は10時よりクリーンアップ大作戦です」といつものアナウンスもデジタル録音でクリアな音声になりました。おかげさまで今年も多くの地域の方にご参加いただき、街も一層きれいになりました。

新田 西丘 南丘 新田南 校区はひとつ

～西丘小学校区編～

9時半過ぎPTA委員の方々が準備されていると地域の方が続々と運動場に集まってこられ、200名近い参加人数になりました。健全育成会副会長の有ヶ谷さんと功刀PTA会長から挨拶と注意事項等のあと5コースに分かれて、ゴミ拾いに出発！男ボウさんはアートロードを、豊寿荘さんは敷地周りをきれいにしてくださいました。普段



から男ボウさんを中心に美しく清掃されている西丘校区ですが、学校でもPTAが主体となり、年間通じて校庭や校区の清掃を行っています。集まったごみは12袋と昨年より少し多く、中でもタバコの吸い殻やペットボトルのポイ捨てなどが多く残念でした。

アンケートより (子どもたち)「タバコが多かった。もうごみを捨てないでほしい。ぼくは、もうポイ捨てはしない！そして、これからもゴミを拾いたい。」「西町がきれいになって良かったです。この活動を続けたら街がもっときれいになります。」

(大人の方)「数年ぶりに参加しましたが、この取組みが20年近く続いていることに驚きました。ごみを拾うことを通じて、地域に関心を向けるいい機会になるので続けてほしいです。町がきれいになると心もきれいになります。」

～南丘小学校区編～

当日は、200名程の小学生、中学生、高校生、大人が集まり、A～Cの3つの班に別れて清掃活動を行いました。千里青雲高校からもたくさんの生徒が参加してくれました。中学生、高校生、大人が小学生や幼児と協力してゴミを拾い、町がきれいになっていく様子はとても素敵な光景でした。

校区内は比較的ゴミが少なく、見た目にはゴミを見つけにくい様子でしたが、植え込みや目立ちにくい箇所には、ゴミや吸い殻がたくさん落ちていました。中には、傘の残骸などの大きなゴミや缶やペットボトルをたくさん拾ってきた人もいました。学校へ持ち帰り分別した後は、毎年恒例の南丘小の芝生の手入れも行いました。閉会式の後にはお菓子の詰め合わせが配られました。お菓子をもらった大人も子どもも、うきうきとした様子で学校を後にしていました。



～新田南小学校区編～

爽やかな秋空のもと、中にはマイ掃除道具を持って参加して下さった方もおられ、意識の高さを感じました。学校周辺の公園、道路、校庭などをグループに分かれて清掃しました。

「自分の母校をそうじてきて、恩返しにもなったし、地球の役に立てて、とても気持ち良かった。」「幼稚園の子どもも楽しく石ひろいをしてくれて、なかなか地域のそうじをする機会もないので、貴重な機会でした。とん汁とてもおいしかったです。」などの感想が寄せられました。

作業後には毎年恒例の公民分館、PTAによる豚汁がふるまわれました。食後の片付けもゲーム感覚で楽しく後片付けができるよう工夫されていて、「何事も楽しんで」という気持ちは大切だと感じました。

～新田小学校区編～

晴天の下、校区内を8コースに分けて清掃活動をしました。今年度も300名以上ものたくさんの方々にご参加いただきました。溝の中や、道端、公園等に捨ててある吸い殻やお菓子などのごみなどを、熱心に拾い集める様子が見られました。小学校に戻って来た時には、ごみ袋がいっぱいになっていました。活動の後には、PTA 新和会のみなさんより、お土産もいただきました。ただごみを拾うだけでなく、就学前のお子さんから小学校低学年、中学生から大人の幅広い年代の方々に一緒に地域の清掃をすることにより、異世代間の交流が生まれ、地域を歩くことで、地域の状況をより知ることができたり、とても有意義な活動となりました。



～感想～「友だちと競いながら拾うと、あっという間だった。」「自分の住んでいる町がきれいになるとうれしい。」「たばこの吸い殻を捨てないでほしい。」という声があがりました。今後も続けていきたいですね。

家庭教育講演会

11月27日、九中校区保護司会・健全育成会・地域教育協議会主催で”社会を明るくする運動“の一環として「家庭教育講演会」を実施しました。犯罪や非行のない地域をつくるには？学ぶべき、知っておくべきことがたくさんあります。それを解決してくれるヒントになるのが「家庭教育講演会」です。



今年は、LINE オフィシャルインストラクターの福泉 敏子さんにお越しいただき、「楽しいコミュニケーション～こどものネットトラブルを防ぐ3つの対策～」をテーマに、ご講演をお願いしました。

～研修の概要～ (豊中市内小中学校ホームページより)

①会長あいさつ

「九中生の健育入選標語を紹介します、・・・」スマホより君の顔見て話したい”今日の講演のテーマ「楽しいコミュニケーション」にぴったりだと思います。」

10時前会場に人が続々と集まり、用意した約400の椅子席と、お子さまと一緒にの方のための畳席もほぼ埋まった。

②楽しいコミュニケーション こどものネットトラブルを防ぐ3つの対策

講師の先生「今日は楽しいコミュニケーションをとっていただきたいと思います。4人ぐらいのグループをつくり意見交換をして、想像していただきます。」参考資料～家庭での対話編～を使って、LINEのなかでいろんな場面が設定されているグループワークである。大人は子どもがスマホを触ったら何が心配か？対戦ゲーム、課金、SNS、ネット依存・・・心配の種はつきない。”子どもはリビングにいるけれどもスマホを触っている間は違う世界にいて、知らない人とつながる可能性がある”ということを知る。子どもはリアルな世界で知らない人に、”ついていけない”は理解しているのだが、SNS、オンラインゲーム、チャットでつながった相手は知り合いだと思いこむ。ネットでつながった相手は知り合いでないことを教えなければならない。顔も名前も知らない人とのメッセージには「答えたらあかん」。先生は、感情は”人それぞれだ”というのを5色のカード教材を使ってワークをしてくださった(写真)。和む。子どもが一番嫌だと思うカードはどれでしょう？カードをあげてください。拳がった。「すぐに返信がない」青いカードが圧倒的に多い。子どもは違うぞ。大人自身の思い込み、子どもとの認識や感覚のずれを体感する。価値観の違いは千差万別だ。十人十色なのがSNSだ。家庭が理解してこそ危険が遠のく。講演が終わる頃、コミュニケーションが広がり明るくなった家庭教育講演会だった。



千里新成人の集い

1月14日全国各地で成人式が行われました。天候は全国的に晴れ！あっ晴れと天が成人を祝ってくれ九中体育館にも九中卒業生約200名が戻ってきてくれました。



～5年の時を経て再会～ (豊中市内小中学校ホームページより)

実行委員会の皆さんは大人である。もう中学生ではなかった。立派になった若者が再び会う。おめでとう風船アーチを新成人が次から次へとくぐってきた。準備をしていただいた”TagⅣ”の皆さんからおめでとうの言葉がとぶ。定刻2時半過ぎには、体育館は主役でいっぱい。体育館で5年ぶりの再会をはたす。午後2時半過ぎ「ただいまより、恩師の皆さんが入場します。」暖かい拍手の中、おー。わー。変わってなー。恩師は笑顔で入場しつつも脳の中の記憶を攪拌(かくはん)させていた。

『恩師から一言』(右上写真)に続き、千里新成人の集い恒例5年前の『思い出ビデオ』♪これから始まるあなたの物語・・・5年前が現れた。約200名の視線はスクリーンに釘付けとなった。大きく変貌を遂げた姿に“うわー”やら、あんまり変わってへん姿に“お～”やら、！！で懐かしい。5年の歳月を時がまき戻す。思い出ビデオで、心の距離と歴史を巻き戻した後はしばし歓談タイムだ。幸運なる再会に乾杯！攪拌した先生方の脳が覚醒していく。あー〇〇！容姿が変わってもしゃべり出せばタイムスリップする。

～九中校区一斉あいさつ運動～

「あいさつ運動」は、心の通う町づくりをめざすため、校区の小学校のPTA委員さん、九中地区委員さんや健全育成の方々も通学路に立って「おはようございま～す」と、校区7箇所地域の子どもに声をかけ、こどもの安心・安全を見守って下さいます。声をかけると「おはようございま～す」と返してくれるこどもも多く、普段から様々な所で地域の方々子ども達に声かけをしてくださっているおかげだと思います。



地域ぐるみで「見守っているよ」というメッセージを今後も発信していきます。

※すこやかネットだよりは、九中HPにてカラーでご覧いただけます。